

# Glacial

ローカル×グローバル  
高校生の新たな学び方  
Action News



学校法人 森教育学園  
岡山学芸館高等学校



英語科2年生 留学先カナダの学校にて

## Special Topic 英語科 2 年生 カナダ留学中の課題研究ゼミをご紹介します!

### 変わりゆく社会を認知する

英語科 2 年生 20 名がカナダ留学に出発してから 6 ヶ月が経過しました。学校の授業やクラブ活動にホストファミリーとの生活など、現地でしか経験できないことを日々満喫しています。毎週水曜日のグローバル II の授業を普通科 2 年生の生徒たちと一緒に受講できないため「COVID-19 ×」をテーマに、オンラインで英語科教員と定期的に課題研究の WEB 授業を行なっています。

### 課題研究ゼミ進行中!

#### ■ COVID-19 × ビジネス探求ゼミ

コロナによりビジネスモデルにも変化が求められています。ゼミでは、ビジネスの基

礎を学び、IT ソフトウェアや観光など、メンバー各人が興味を持つ各業種における新たなビジネスモデルの創出を目指しています。

#### ■ COVID-19 × 環境ゼミ

コロナで増加した「海洋プラスチックゴミ」に着目し、実態と対策を議論してきました。「電子マネーとプラゴミリサイクルの促進」、「SNS によるプラゴミ削減の意識向上」など、具体的なテーマの探求を行っています。



サランラップの代替物となる蜜蠟ラップ

#### ■ COVID-19 × メンタルヘルスゼミ

各種調査からコロナが若者のメンタルヘルスに負の影響を与えたことが明らかになっています。1 月 22 日のカナダメンタルヘル

スデイ (Bell Let's Talk) でのイベントに参加すると同時に、日本でのメンタルヘルスオンラインイベントの準備を進めています。

#### ■ COVID-19 × 社会的弱者ゼミ

コロナは各国の社会的弱者に対する偏見や差別の問題を浮き彫りにしました。在留外国人との議論を通じ、コロナ禍の生活で、日本人の固定観念や偏見に困っていることも分かりました。偏見や差別に関し「カナダでのアジア人留学生への偏見」「技能実習生と偏見」をテーマに調査を行っています。



#### ■ COVID-19 × 伝統文化(祭り)ゼミ

コロナの影響で、この 2 年間、伝統的な祭りなども開催の中止が相次ぎました。ゼミでは、それを「伝統文化」を考えるよい機会と捉え、真に継承していくべきことは何か、新しい伝統文化の在り方に関し、提言していきます。



## Topic 1 色々な課題研究に触れてみよう グローカル課題研究Ⅱゼミ間交流会!

2年生の課題研究では、それぞれの興味関心で選ぶ23のゼミナル方式で活動しています。ゼミの中にも研究グループがあり、その数なんと約130グループ! 日頃は別々に活動していますが、この日はゼミの垣根を取り払い、各グループの発表や進捗状況、課題研究活動で苦労していることや良い点などを発表しあい、色々な視点の在り方を知り、互いに学

び合う機会にしました。

「他のゼミの良いアイデアを取り入れようと思った」「自分たちの発表を聞いた人の率直な意見が聞けたので改善したい」「全く違うゼミなのに重複していることがあって興味深かった」など、それが刺激を受けたようです。

みんなで一齊に学び合い。変化や違いを楽しみながら学びます!



## Topic 2 外部講師をお招きして第一線のお話が聞ける リベラルアーツ連続講座を開講しました

放課後の時間を使い、中学生から高校生まで、自分の興味関心に従って好きな講座を好きなだけ受講できる本講座。第1回目はAMDA社会開発機構から山上正道先生をお招きし、「国際協力の関わり方」についてお話を伺いました。多くの途上国で支援活動を行ってきた経験から、

難しさだけではない活動の奥深さを教えて頂きました。第2回目は瀬戸内市企画振興課から仁科佳菜子先生をお招きし、「瀬戸内市が目指す地域づくり」を学びました。ワールドカフェ方式で議論を重ね、行政施策が自分たちにも大きく影響していることを実感しました。



## Glocal ② ゼミ活動報告

夏休み一泊二日で隅から隅まで

### 小豆島の現地調査へ



歴史地理探求ゼミでは、小豆島をほぼ一周して現地調査を行いました。調査対象である佐々木信胤にまつわる不明点を明らかにするため、島内の様々なゆかりの土地、靈廟を巡りました。小豆島観光協会の方々にインタビューをお願いし、小豆島の伝統文化である中山農村歌舞伎の舞台や歌舞伎にまつわる様々な資料、衣装、舞台など隅々まで見せてもらいました。

## Glocal ② ゼミ活動報告

山陽新聞社主催連続シンポジウム

### パネリストとして登壇!



政治・経済ゼミの植田空近君が、シンポジウム「SDGs 地域課題を探る」に高校生代表パネリストとして参加しました。

少子化対策のヒントを得るために、地域自治体で自主的に防災活動を行ったり、役場へ現地取材を行って準備をすすめた植田君。データと経験に裏付けられた堂々とした発表で、若者の社会参加経験の必要性を訴えました。

